

若い人たちに語り継ぎたい。そして、次の世代に残してほしい貴重な話しをお届けします。

お年寄りたちの貴重な体験談 〈第十回〉

あすへひとこと

秋妻集会所の移り変わり

私が、秋妻に嫁いできたのは、大正十五年の秋でした。そのころの集会所は、道沿いに六体ばかりの地藏様が並んだ宝泉寺という廃寺で、今の水田になつているところにありました。

わが家の古文書によると、それ以前の宝泉寺は、明治六年より、容新学校として利用され、秋妻、藤川、石打、荒金から生徒が来たそうです。

白石信太郎先生が校長で、ほかに二、三人の先生がおられたようです。その時の先生の月給は、校長先生が四円で、ほかの先生が二円と書いてあります。生徒の月謝は三銭で、納めた子どもの名前の上に、赤い丸印が付けてあります。明治元年の、米一俵の値段が、



一円六十二銭だったそうですが、月謝が納められない子どももいたようです。

その後、藤川に現在の高島小学校ができたので、容新学校は廃校になり、集会所として使われるようになりました。

現在の集会所は、昭和六年、稚



代々受け継がれている築比地庸雄家の古文書

「あすへひとこと」(邑楽町老人クラブ連合会・あすへひとこと編集委員会)は、邑楽町在住のお年寄りたちの貴重な体験談を、邑楽町あすへひとこと編集委員会が編集・発行したものです。

蚕飼育所兼集会所として建てられました。落成式は、十一月二十三日に行われ、花火があがったり、芝居が昼から夜の十二時まで、二日間もあり、それは盛大でした。ラジオやテレビの無い時代のことなので、近村から大勢の人が見にきたようです。

あこのころの主婦は、前日から料理の準備に、てんてこ舞いで、当日は芝居見物どころではありませんでした。それで、翌日見に行きましたが、浪花節入りの芝居で、出し物は、国定忠治や、清水次郎長といった侠客物でした。

数日後、初代掘込源太さんが、お祝いに来て歌った八木節を聞き、六十を過ぎたと言うのに、さすが名人と感心したものでした。

そのころの秋妻は、養蚕が盛んでした。二眠くらいまで共同飼育し、私も給桑(きよこう)に桑の葉を与え(こと)に行きました。繭の出荷も、新築になった集会所に出すようになり、近くて助かりました。

その後、戦争が激しくなるにつれて、国の政策も食糧増産に重点がおかれ、桑畑がどんどんつぶさ



現在の秋妻公民館(昭和61年12月建築)

れていき、養蚕する人がだんだん少なくなり、米の集荷所として使われるようになりました。

先日、公民館建設についてのアンケートの報告書を見まして、昔を思い出すままに書いてみました。

高齢者の語り第一集

「あすへひとこと(昭和六一年二月一日発行)―時代の移り変わり―」より

「秋妻集会所の移り変わり」故・築比地あきさん(秋妻・一七区)



残雪を照らす
夜明けの光
(多々良沼公園)



Photo 高根澤高明(写真ボランティア)

ひとりごと From editors

▼立春を過ぎてだいぶたちますが、先日雪が降り、相変わらず寒い日が続いています。おかげで外出するのも、おっくうになって…。早く暖かくなってほしいと思うのですが、暖かくなると花粉が飛びます。今は何の影響もありませんが、これからくしゃみ・鼻水が止まらなくなると、暖かくなるのも考えものです。▼冬の間にバ沼や中央公園に飛来し、私たちを楽しませてくれた白鳥たちも3月下旬には北の方に帰ってしまいます。短い間でしたが、毎日目にしていたものがいなくなってしまうのは、少しさびしい気がします。また来年も多くの仲間と共に邑楽町に来てくれることを楽しみにしています。(清)

広報おうら

平成24年3月号 No.546

ORA TOWN Public Relations

毎月1日発行

編集・発行 邑楽町役場企画課

〒370-0692 (住所記入不要)

☎0276-88-5511 (代表)

☎0276-47-5007 (企画課直通)

☎0276-89-0136

URL <http://www.town.ora.gunma.jp>

E-mail koho@town.ora.gunma.jp

邑楽町携帯サイト

2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。

携帯用URL <http://www.town.ora.gunma.jp/k>

